

～みんなでつくる近江八幡らしい新庁舎整備に向けて～

## 『第1回 近江八幡市庁舎整備基本計画策定委員会』を開催しました。

少子高齢・人口減少社会の進展をはじめとする社会情勢の変化を踏まえつつ、これからの時代にふさわしい市役所庁舎を令和5年度中に竣工するため、その指針となる新たな基本計画を策定することを目的に、各種市民団体や公募市民を含む15名の委員で構成する近江八幡市庁舎整備基本計画策定委員会を設置し、第1回目の策定委員会を令和元年7月3日(水)14時から文化会館・小ホールで開催しました。

本委員会は、公開で開催し、市民のみならず、市議会議員、職員など多くの参加がありました。

### 1 開会

講演「地方自治と官庁街」

### 2 委員会の役割・位置づけ等について

### 3 これまでの経過等について

市民意識における普遍的ニーズについて

### 4 意見交換について

官庁街と市庁舎のあるべき姿や求められる役割について



## ミニ講演：「地方自治と官庁街」 ～みんなでつくる近江八幡市新庁舎のイメージ～

冒頭には、本市の官庁街や市庁舎に必要な機能を考え共有する機会として、(公財)都市化研究公室の光多長温理事長によるミニ講演会を行い、近年の社会動向を踏まえた様々な課題や留意事項についてお話をいただきました。(特に留意すべき環境変化を以下に整理)

### ◆特に留意すべき環境変化

- ・人口減少による人材確保の課題(高齢世代を支える現役世代の不足、自治体職員数の制約)
- ・行政サービスの効率化を後押しするAI(人工知能)やICT(情報通信技術)の技術発展や、デジタルファースト法の施行(行政手続きの電子申請への原則統一化)
- ・公共サービスを一部支える地域運営組織等の活動の活発化 など

### ◆市庁舎整備検討における留意すべき事項

- ・自治体行政のあり方、庁舎の使いやすさ等に留意した市庁舎整備の検討
- ・AI・ICT活用や既存公共施設等の活用によるフレキシブルな庁舎の規模・配置の検討 など



## 過去の市民意向を踏まえた「市民意識における普遍的ニーズ」について

過去のアンケート調査や各種委員会等における市民意向について、今後の基本計画見直しに際して十分に踏まえていく事項として「市民意識における普遍的ニーズ」について再分析をおこないました。

### ◆官庁街の活性化と連携した交流機能の充実

- ・周辺の公共施設との連携、市民が集え行ってみたくなるにぎわいの場づくりなど

### ◆市民が手続きや相談をしやすい安心できる庁舎づくり

- ・一体的な利用度の高い住民窓口サービス機能の集約配置、防災拠点機能の確保など

### ◆将来的な事業費負担への配慮

- ・庁舎整備等に係るコスト縮減、既存公共施設活用も含めたコンパクトな庁舎整備など



# 意見交換 『官庁街と市庁舎のあるべき姿や求められる役割など』について

## AIやICTを生かして行政サービスの充実を

- AI や ICT をうまく利用し、素早く手続きができるとう便利。
- 市役所に行かなくても身近な公共施設で必要な書類や情報等が入手できると便利。
- 情報機器等の利用に不慣れな人（情報弱者）への対応が必要。

- AI や ICT 化を進めて、人でしかできないことに時間を有効に使い、申請書類等の縮減による庁舎規模の抑制、クリエイティブ（創造的）なことができるスペースづくりにつなげていく方向も有効。



## 市民交流・コミュニケーションの場としての機能の充実を

- 市役所は市民のくつろぎの場でもあり、AI だけに頼るのではなくて、コミュニケーションを大切にしながら場づくりも必要。

- 福祉、介護、保育等の手続きや相談は、コミュニケーションがとても必要になるため、必要なスペースを取るとよい。

## 市民利用度の高い窓口サービスの一体化や、身近なサービス提供の検討を

- 1カ所で済ませようと思っても、特に子育て・障がい・福祉に関する部署が分散しており利用しにくい現状。ワンストップ化や、AI・ICT 利用による利便性向上が望まれる。

- 高齢者など移動が大変な人にとっては、身近な公共施設等で必要な書類等が入手できると便利であり、各コミュニティセンターの活用も含めて検討を。

## フレキシビリティ（柔軟な対応力）に留意した整備方向の検討を

- 各コミュニティセンターなど既存公共施設の活用と AI・ICT の利用を組み合わせ、身近な場所での行政サービスの提供が可能となる検討を。

- 人口減少に伴い行政職員の人員縮減が想定される中、フレキシブル（柔軟）に対応可能な行政組織のあり方も課題。

## 行政サービスを支える体制の充実を

- 市役所で行う様々なサービスと、元気な高齢者も含むボランティアの活躍の場をつなげて、行政だけでできないサービスを地域の力で充実させていくことも有効。

- 行政職員の人員縮減があっても、ボランティアや地域運営組織等の多様な担い手を増やして支援するなど、行政サービスのレベルを落とさない仕組みづくりが課題。

## その他、今後の議論や合意形成の進め方、留意すべき事項 など

- 高齢者など交通弱者への対応も課題。

- 土曜日や日曜日しか市役所に行けない人への対応も課題。

- 今後の議論は、どういう場所・空間にしたら楽しいのか、有意義なのか、といった発想で、行政サービスや市民生活をイメージしながら進めていくことが大切。

- 全国から近江八幡市役所で働きたいと思えるような、魅力的な職場づくり、行政サービスを検討することも必要。

- 検討に際しては、過去の市民意見等も生かして、市民意見が少しでも反映できるよう、計画の検討段階から意見を把握・反映していくことが大切。



### ◇お問い合わせ◇

近江八幡市 総合政策部 市庁舎整備推進室  
TEL : 0748-36-5577 FAX : 0748-32-2695  
E-mail : 010428@city.omihachiman.lg.jp

これらの新庁舎に関する情報は、市ホームページにも掲載しています。ホームページをご覧になれない人はお問い合わせください。